



慶應義塾大学ビジネス・スクール

Google+（グーグルプラス）

5

イントロダクション

2011年6月、グーグル社（以下グーグル）のソーシャルサービスである「Google+（グーグルプラス）」のサービス提供が開始された。グーグルの公式ブログでは、Google+を立ち上げる意図をつぎのように説明している^[1]

10

人間の基本的な欲求の1つに他者とのコミュニケーションがあります。笑顔、ささやき声、歓声、そうしたもので私たちは日々他の人たちとつながっています。

15

最近では、人と人とのコミュニケーションは、オンライン上で行われることが多くなってきました。しかし、現在のオンラインツールにはまだ融通のきかない面もあり、リアルな人間関係の微妙なニュアンスの多くが失われてしまいます。

この人としての基本的な欲求を満たすためには、現在のオンラインでの情報はまだぎこちなく、十分に機能していないとさえ言えるかもしれません。Googleではこの状況を改善することを目指します。

20

現実世界でのコミュニケーションの細やかさと豊かさをソフトウェアで再現したい。あなた自身のこと、その人間関係、そして興味のあることを取り込むことによって、Googleの使い勝手をよりよいものにしたい。Google+プロジェクトはこうしたことを実現しようとするGoogleの試みです。

25

^[1] 技術部門担当上級副社長 Vic Gundotra による Google official blog への投稿 “Google+ プロジェクト：現実世界の人間関係をウェブで”、2011年6月28日。 <http://gplusproject.appspot.com/static/ja.html>

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 山本 晶准教授がクラス討議の基礎資料として作成したもので、経営上の適切もしくは不適切な状況処理を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 山本 晶 (2015年12月作成)